



# カリオン

Vol.7



2008年10月

発行 姫路赤十字看護専門学校  
発行責任者 学 校 長 湯 浅 志 郎  
編集責任者 事務部長 船 田 理  
〒670-0063 姫路市下手野1-12-2  
TEL/FAX 079(299)0052(直通)

## トレーニングセンター



今年も、気温35度を超える酷暑の中、赤十字災害救護活動に必要な救護技術の習得を目的にトレーニングセンターを開催しました。学生は、テント設営・担架の取り扱い・無線機の取り扱いなどの講習を受けたのち、クラスⅡが救護班を編成し、傷病者役のクラスⅠの救護にあたります。「痛い！助けて～」傷病者役（クラスⅠ）の悲鳴に優しい笑顔で対応し、慣れないトリアージや応急手当を全力で実施しました。

今年は全国で地震や水害が多発し大自然の猛威を実感しています。私たち看護職にとって災害にどう対応するかは重大な課題です。

(専任教師：糟谷 緑)

## 後期行事予定

9月	29日(月)～クラスⅢ院外実習	
10月	7日(火)～10日(金)クラスⅡ日本赤十字社本社訪問およびレクリエーション	
	29日(水)クラスⅠ戴帽式、戴帽を祝う会	
11月	6日(木)7日(金)クラスⅡ保育所実習	14日(金)関西看護学生研究大会クラスⅡ参加クラスⅢ1名発表
	21日(金)球技大会	
12月	1日(月)～1月6日(火)平成21年度入学試験願書受付	25日(木)～1月6日(火)冬季休業
1月	21日(水)22日(木)平成21年度入学試験	27日(火)28日(水)クラスⅠ基礎看護学実習Ⅰ～2
	30日(金)～2月10日(火)クラスⅠ基礎看護学実習Ⅰ～3	
2月	22日(日)第98回看護師国家試験	
3月	4日(水)卒業を祝う会	6日(金)クラスⅢ卒業式
	20日(金)～春季休業	26日(木)国家試験合格発表

### 姫路赤十字看護専門学校教育理念

#### 『人道』

赤十字における看護基礎教育のねらいは、赤十字の基本原則である『人道』を基盤に、看護の分野において社会の要請に応え得る、豊かな人間性と看護に関する幅広い能力を兼ね備えた看護の実践者を育成することにある。赤十字は、国際的な視野に立って人の命を守り、個人の尊厳と権利を尊重する。その看護活動は、国籍・人種・信条・政治および社会的立場のいかんにかかわらず、人々のあらゆる健康レベルに応じて健康上の問題が解決されるよう支援することである。複雑な要因に影響される健康問題は総合医療活動として包括的、組織的に取り組まれるようになってきている。この保健医療福祉活動の一環を担う看護の機能は、個人のみならず家族、集団、コミュニケーションへのアプローチへと拡大するとともに、より専門的な実践と調整的役割が期待されている。

したがって赤十字における基礎教育終了時には、保健医療福祉システムの一員として、また国内外における赤十字活動の要員として、個人を尊重した看護活動ができる基礎能力を有し、将来看護の発展に貢献できる看護実践者の育成を目指すものである。



#### 【目 的】

『人道』『公平』『中立』『独立』『奉仕』『単一』『世界性』の赤十字の基本原則に基づき、殊に最高原則である『人道』を基調として、専門職者である看護師の責務を果たすために必要な能力を開発する。

#### 【目 標】

1. 看護の対象である人間を総合的に理解する。
2. 健康状態や生活の場に応じた基礎的看護が実践できる。
3. 看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止する。
4. 看護師として他の保健医療福祉チームと協働する基礎的能力を身につける。
5. 看護の実践に際しては、日本看護協会が規定する「看護者の倫理綱領」をよく理解し、遵守する。
6. 赤十字の基本原則を理解し、国内外を問わず赤十字の諸活動に高い関心をもち、また積極的に参画する。
7. 専門職者としての自覚と誇りを持ち、自己啓発する。
8. 効果的な人間関係を築くための基本的能力を身につける。

## トレーニングセンターに参加して



眼球突出傷病者の手当を行う学生

トレーニングセンターを通して学んだことのひとつが、集団行動の大切さです。災害救護訓練では、多くの傷病者が出る混乱した状況下でも、救助者は常に冷静に協力し合って、統制のとれた行動をとることが大切だと実感しました。トレーニングセンターは各々が役割を持って、全員で作り上げる場でもあります。自分の役割を自覚して、チームのために積極的に動くことは、日々の生活やグループワークにも共通するので、日頃から意識して取り組みたいと思いました。

(クラスⅠ)

7月16・17日に但馬長寿の郷でトレーニングセンターを行いました。1日目は基礎行動訓練や無線機の取り扱いなどを学びました。私たちクラスⅡは2回目の参加ということもあり、声を掛け合って積極的に取り組むことができました。2日目は災害救護訓練をしました。傷病者の傷だけを見るのではなく、同時に心のケアも行っていく大切さを学びました。この日まで何回も話し合い、全員が傷病者を助けたいという思いを持ち訓練に臨むことができました。

(クラスⅡ)



トリアージ実施中

## ナイチンゲール祭



フローレンス・ナイチンゲールは、イギリス人で大富豪の両親の旅行中、1820年5月12日イタリアのフィレンツェに生まれました。

クリミア戦争で傷ついた兵士たちを、ランプを持って癒したことから"ランプを持った淑女"と呼ばれるようになりました。そこで、5月12日には姫路赤十字病院でキャンドルサービスを行なっています。

5月12日はフローレンス・ナイチンゲールの誕生された日です。私達学生は毎年この日、病棟でナイチンゲール祭を実施しています。昔、ナイチンゲールがクリミア戦争で傷ついた兵士達を見回った時の灯火にあやかりたいとの願いを込め、学生1人1人が手に燭台を持ち、キャンドルサービスを行います。患者様やご家族の方々と一緒に歌う声が重なり合った時の嬉しさと感動は、看護師を目指す私達に勇氣と自信を与えてくれました。私達学生はこの想いを胸に、日々努力して夢に近づいて行こうと決意を新たにしました。

(クラスⅡ)

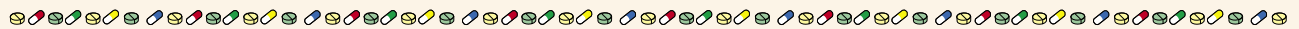


# キャンパスだより

## クラスⅠ

夏休みが終わり、数週間が経ち、生活のリズムが平常に戻ってきました。今僕たちは、全身清拭の技術を学んでいます。患者様が不快と思われないように強さや拭くスピード、リズムなどを考えて行わなければならないので、苦労しながら日々練習しています。また講義では専門的な分野が多くなってきたので、毎日予習・復習、小テスト調べに追われています。戴帽式も近くなってきたので気を引き締め、これからの学校生活を送っていききたいと思っています。

(クラスⅠ)



## クラスⅡ



臨地実習にて

学生生活の分岐点に立ち、色々考え方が変わった事に気付きました。何かにつまづくと落ち込むだけだったのが、今では自分なりに分析しアセスメントしようと思います。それは実習や対人関係で悩み、多くの人に助けられながら成長する過程で変わったのだと思います。その反面、クラスⅡになり勉強や責任のある仕事が増えて他の事に手が回らず、私の長所である探求心が失われている事に気付きました。もう少しゆとりを持ち再度探求心を養いたいです。

(クラスⅡ)



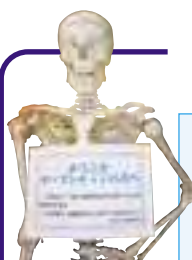
## クラスⅢ

8月28日(木)～9月1日(月)、クラスⅢは今までの実習経験をまとめたケース発表を行いました。夏季休業中も学校に通い、何度も文章を訂正しました。論文としてまとめることは難しく、納得のいく文章になるまで多くの時間を費やしました。私にとってケースは、看護の再発見もありましたが、新しい自分を発見するプロセスでもありました。

同級生の発表から、同じ疾患の患者様でも看護が異なることが解り、また、みんなの看護に入り込んで追体験をしたように感じます。同級生の看護に感銘し、みんなの成長を実感しました。

(クラスⅢ)





## オープンキャンパス

受験希望の方に、学校のことを知っていただくために、毎夏オープンキャンパスを実施しています。8月6日・13日・20日(水)の3日間で約120名の方が参加されました。施設見学、呼吸音の聴診や血圧測定の実験、実習室での看護技術練習見学、看護衣を着ての写真撮影、質問コーナーなど、在校生もボランティアで活躍しました。



血圧測定の体験



質問コーナー

今年も夏季休業中にオープンキャンパスが行われ、沢山の方に参加して頂きました。私達学生ボランティアは、参加者の方に少しでも私達の学校の事を知ってもらうために、パネルや写真などを展示し、学校紹介と施設案内を行いました。physiko（フィジカルアセスメントモデル）やラング君（呼吸音聴診シミュレーター）での聴診や血圧測定などを実施する事で参加者との交流を学生も楽しんでいました。質問コーナーでは学校生活や入学試験などの話しを通して参加者の方と触れ合え、看護師を目指し始めた頃の自分を思い出しました。参加者からは「施設も綺麗で設備も整っており、在校生の方も仲がよく楽しそうな学校だと思った。」などのアンケートが返ってきており、とても良いオープンキャンパスになりました。この日のために沢山の方にご協力いただき本当にありがとうございました。（クラスⅡ）

## 学会発表

### 第9回日本赤十字看護学会学術集会

6月14日(土)15日(日)京都橘大学において、第9回日本赤十字看護学会学術集会が開催されました。西ブロック副学校長共同研究として「赤十字看護学生の自己教育力—その実態と実習充実感との関連」及びテーマセッション（赤十字における魅力ある学校づくり：専門学校の場合）で本校の「看護基礎教育におけるリフレクションによる学習への



の取り組み」を紹介しました。どちらも「教育とは何か」「学習とは何か」を本質的に問いかけるものでした。

「3年間で学び方を学び、卒業後にも学び続ける学習姿勢」を身につけた赤十字看護師を育成することを目標とした取り組みの一環です。

（副学校長：樺山 たみ子）





## 海外研修



6月8日(日)～13日(金)までハワイ医療施設視察研修に参加しました。当院からは看護係長、看護師3名と一緒に全国より16施設、総勢35名の参加者でした。

9日ホノルル市の中心部にあるクワキニメディカルセンター・クワキニ高齢者センターを視察しました。同センターは大火災で住む家を無くした日本人移民を救うため、日系の「日本慈善協会」が1900年に創立した、250床の急性期病院で、人種・支払い能力等を問わず広く医療を提供しています。

私たちはキャリアが30年以上もある男性看護師から話を聞くことができました。米国の看護師は准看護師、看護師、有資格看護師、看護博士の4段階であること、ICU、CCU、ERなどは専門資格がないと働けないため、個人で頑張って勉強すること、配置換えはあまりないということでした。また

た最も興味があった看護学生の臨地実習については、日本では、無資格者である学生が臨地実習で患者にケアを行うことは、患者の権利意識の高まりと相まって、年々難しくなる傾向です。しかし、クワキニメディカルセンターでは、看護師、教師の監督下であれば、侵襲のある処置、診断をすることもできるということでした。

午後からは3班に分かれて院内見学をしました。建物は新しくはないけれど、どこもゆったりしていて、対応もおおらかで、誇りを持って働いている看護師の姿が印象的でした。

久しぶりの海外で、顔見知りではあるものの、年齢層も違う人たちとの1週間はなることかと思いましたが、マウイ島観光、ワイキキビーチなど研修以外の時間も思い切り満喫することができました。

(専任教師：名村 かよみ)

ICU：集中治療室 CCU：心臓病集中治療室 ER：救急室



## 医療安全研修

個人のエラーが直ちに事故に直結し、また事故が起これば、個人がその責任を問われることが多い看護現場の中では、エラー・事故を未然に防ぐ自己努力が必要となり、事故防止を念頭においたカリキュラムの構築が課題となっています。

平成20年8月4日(月)～8日(金)、東京の厚生労働省看護研修研究センターにおいて、「平成20年度看護基礎教育における医療安全推進のための看護教員研修」及び「看護教員再教育講習会」を受講してきました。全国91校の看護専門学校からの参加で、講義と演習によるものでした。平成21年度のカリキュラム改正を目前にし、演習を通して自校の課題を明らかにした上で、①事件事例(転倒・転落、誤薬)分析により帰納的に②理念・医療安全の重要性や価値の明確化により演繹的に、教育内容の抽出を行いました。演習を通して、医療安全の教育内容は、看護の現象から導き出すことが必要で、その内容が核となることを実感できました。講義では、事故に関わる包括的な知識を増やすと共に、「自分で自分を知り、自分をコントロールする力」すなわち「メタ認知力」を鍛えることが、エラー・事故を未然に防ぐ為に有効であることを学びました。

(専任教師：田畑 淑子)

平成20年度「看護基礎教育における 医療安全推進のための看護教員研修」及び  
「看護教員再教育講習会」

開 催 日：平成20年8月4日(月)～8日(金)

開 催 場 所：厚生労働省看護研修研究センター

※各県より2名推薦で参加しました



# 講師紹介



瑞宝中綬章 受章されました

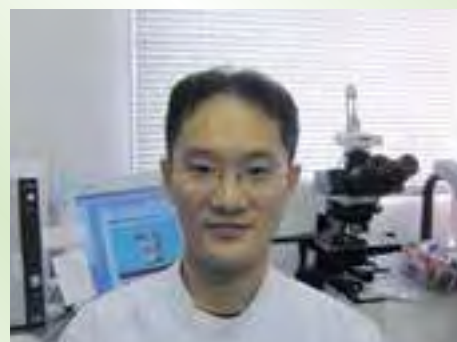
英語の教師を40年続けて、最近10年はドイツ語に熱中している。毎日欠かさず、接しているが、その割に効果が上がらない。年のせいだ。最近やっと、寝転んで一辞書を使わずに一文章の大意がとれるようになった。

投下した時間とエネルギーに比較して、効率がとても悪い。そこで、つくづく後悔して、「鉄はすべからく、赤いうちに打つべし」と。

(外国語 I 講師)

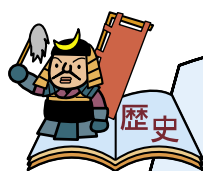
病態学 I の講義を担当する藤澤です。普段は病院で、患者様から採取された細胞や体の一部（組織）を顕微鏡で観察して、どのような病気か、特にがんなのか否かを調べる業務を行っています。講義では、様々な病気の発生するメカニズムについて基本的な事柄をお話します。これから皆さんはたくさんの種類の病気を学ばなければなりません、この講義はその入り口であり、案内板の役割を担います。

(姫路赤十字病院検査部副部長・病理医)



「特別講義－緩和ケア－」を担当させていただいています。講義では、終末期に特有な緩和困難な症状に対し、看護師として根拠をもったケアを行えるような内容を考えています。また、緩和ケアは非常に難しい反面、ケアを通して、その人の人生最期の時に、現状を肯定し穏やかに過ごしてもらえるように一緒に考えることで、私達医療者も成長できる場でもあります。この事が授業を通して一人一人の胸に届くように工夫したいと思います。

(姫路赤十字病院7階西病棟師長・緩和ケア認定看護師)



歴史シリーズ

## 『看護の栞』

F・ナイチンゲール嬢はおびただしい数の本を著した。その中でも特に有名な著書が「看護覚書」である。写真は1913年（大正2年）に日本赤十字社が発行した「看護覚書」であるが、タイトルは「看護の栞」である。日本赤十字社が早期よりナイチンゲール看護方式を支持していたことを示す貴重な資料である。

この本は現在国会図書館が所蔵しているが他にはみあたらない。看護歴史研究者にとっては、喉から手がでるほど貴重な資料である。  
(副学校長：樺山 たみ子)







## 奉仕団活動報告 院内図書班

院内図書班は毎週火曜日と木曜日に病棟を訪れ患者様に本の貸し出しを行っています。活動をしていると毎回「待ってたよ」とおっしゃって下さる患者様やたくさん借りて下さる患者様に会います。そんな時いつも活動してよかったと感じます。私達は活動を通して、患者様の入院生活に癒やしとゆとりが提供できることを目標としています。これからも、もっとたくさんの患者様に利用していただけるように活動していきたいです。

(クラスⅡ)

※写真掲載の承諾を得ています

## 委員会活動報告 クラス会計

クラスⅡは1ヶ月前から教室のホワイトボードにクラス費の集金日を書き、集金日が近づいてきたらクラス全体に呼びかけを行い、お金を忘れる人がいないようにしています。クラスⅡでは行事が多く支出が多いので集金額を見直しました。みんなのお金を預かるので金銭の取り扱いについて、事務係長に相談しながら責任を持って行っています。

(クラスⅡ)



各学年クラス会計委員と事務係長



## サークル活動 緑のそよ風

私たち「緑のそよ風」は、現在クラスⅡ4名で活動しています。今年は、春の新入生歓迎会の際にハーブクッキーを作ってプレゼントし、夏には中庭にトマトやキュウリ、茄子やオクラなどの夏野菜を育てました。秋には梨狩りなどのイベントも考えています。毎日放課後や昼休みに庭の様子を見にいき、植物たちが育っていくのを観察することは、心が癒やされ明日への活力に繋がります。

(クラスⅡ)



## 最新の医療ニュース

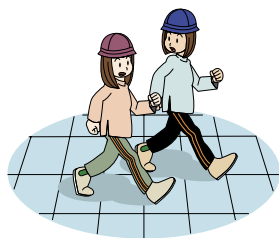
### 「国家試験の出題形式の変更について」

国家試験の出題基準は概ね4年毎に見直され、2010年第99回看護師国家試験より改定出題基準が適用される見込みです。必修問題を現在の30問より50問程度に増加、禁忌肢の導入は見送られましたが、「患者の生命を直接脅かす行為」「触法行為」「非倫理的行為」を問う問題を強化することが示されています。

また、2009年より現在の四肢択一式に加え、五肢択一式や五肢択二式、写真などの視覚素材を取り入れた出題形式を導入、より確実な知識が問われることになります。クラスⅢの皆さんはもちろん、クラスⅡ・Ⅰの皆さんも日々の学習を確実に積み上げましょう。

(教務主任：柳 めぐみ)

## 健康講座 「運動の効果」



運動習慣のある者は20代男性で25%、女性で17%と低いですが、60歳代になると健康の保持・増進のため男女とも約40%と増加しています。適度な運動は生活習慣病の予防につながるだけでなく、ストレス解消や夜ぐっすり眠れるなど多くのプラス効果があります。若い頃は学業や仕事で時間がないとは思いますが、まずはエレベーターを使用せず階段を利用する、ひとつ前の停留所で降りて歩くなど日常生活の中で運動を取り入れてみてはどうでしょうか？

(専任教師：松井 里美)

## カリキュラム改正について

平成21年度入学生よりカリキュラムが改正されます。前回の改正より10年余りが経過し、少子高齢化の進展、医療技術の進歩など、看護をめぐる環境も大きく変化しています。今回の指定規則改正の主な趣旨として①教育内容の充実、②看護実践能力の強化が明示されています。専門分野が、専門分野Ⅰ（基礎看護学）と専門分野Ⅱ（成人・老年・母性・小児・精神看護学）、統合分野の3つの分野になります。統合分野に、「看護の実践と統合」と「在宅看護論」が置かれ、医療安全を重視し、基礎教育と臨床現場の乖離を埋めることが課題となっています。

当校では、看護実践能力を身につけた看護師とは、リフレクションを行ない主体的に考え、自己成長できることであると考え、教育内容の検討を重ねています。

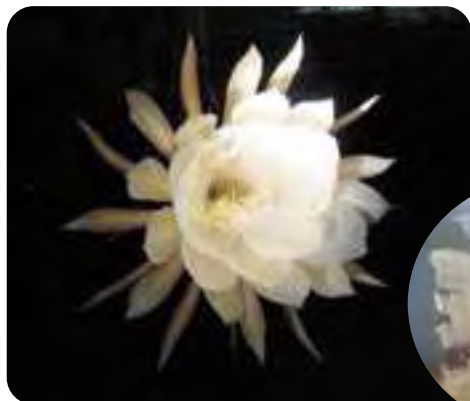
(教務主任：柳 めぐみ)



### 月下美人

6月16日20時30分、月下美人が満開になり、甘い香りが中庭一面に広がりました。この美しさを保存したい…開花したままアルコール漬けにすると3ヶ月経った今でも楽しめます。

(専任教師：糟谷 緑)



8



アルコール漬け

## 戴帽式のお知らせ

110回生の戴帽式を10月29日(水)10時から、姫路赤十字病院3階の多目的ホールで行いたします。

保護者の皆様も  
どうぞご参加下さい。



平成19年戴帽式

## 編集後記

この夏のことは一生忘れられないと思います。

平成21年度のカリキュラム改正に向けて、寝食を忘れて、一室にこもり、白熱した討議をしました。自ら考えて行動する看護師、自己教育力を身につけた看護師を育てたい。そのためには基礎教育で何を教えるのか、臨地実習はどうするのか、これほどまでに深く教育について考えたことがあったかというほど討議しました。まだまだこれから検討が必要ですが、この夏私たちの熱い思いが1つの形としてまとまりました。

(専任教師：名村 かよみ)

